

# 令和3年度 石狩地区の研究活動

研修部 当別町立当別小学校  
校長 昇 洋一

## 1 はじめに

石狩管内小中学校長会は、今年度98名（小学校61校、中学校37校（義務教育学校1校を含む））の会員の総意の下で、令和元年度からの3年次計画を設定し、研究主題「自立・協働し、未来を創る石狩の子どもを育成する学校教育の推進」の解明に向け、研究活動を進めている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応により研究計画を1年先送りし、新たな研究課題を設定して研究活動を進めることとしたが、今年度は研究大会の開催方法を工夫し計画に基づいた研究活動を行っている。



## 2 研究計画

### (1) 研究主題

令和元年度～4年度（4年次計画）※3年次計画から変更  
「自立・協働し、未来を創る石狩の子どもを育成する学校教育の推進」  
～「自立した人格」と「未来を切り拓く資質・能力」を育成する学校経営の在り方～

### (2) 協議題・課題

- 【第1協議題】令和元年度 「時代の要請に応える創意と活力ある学校経営の推進」
- 【特別協議題】令和2年度 「直面した課題に対応し、創意と活力ある学校経営の推進」
- 【第2協議題】令和3年度 「社会の信頼・負託に応える確かな学校経営の推進」
- 【第3協議題】令和4年度 「社会の変化を柔軟に受け止め、子どもたちの確かな生きる力を育む学校経営の推進」

### (3) 研究推進計画

市町村校長会の研究組織を母体に、研究協議題を踏まえた共同研究を進める。

- ①春季学校経営研究会 第2協議題の課題①について提言発表 4月
- ②市町村研修部長会議 5・10・1月
- ③道小研究大会開催、道中・全連小・全日中研究大会大会参加 9～10月
- ④秋季学校経営研究会 第2協議題の課題②について提言発表 11月
- ⑤研究集録の発行 2月

## 3 今年度の研究活動

- (1) 春季学校経営研究会の開催（4月） ➡分科会を設定せず、北広島市芸術文化ホールで実施
  - 協議題 「社会の信頼・負託に応える確かな学校経営の推進」
  - 課題① 未来の教育を担う人材育成の推進

- 〈視点ア〉教職員の資質・能力と学校経営参画意識の向上
- 〈視点イ〉次代を担う教頭・主幹教諭・ミドルリーダーの育成

○全体会説明

- ・研究計画について：管内校長会前研修部長 三科 圭介（恵庭市立恵庭小学校長）

○全体会提言

- ・小学校部会提言 北広島市立北の台小学校長 山村 健史
- ・中学校部会提言 千歳市立北進小中学校長 佐藤 貢

**（２）北海道小学校長会教育研究石狩・千歳大会の開催（９月）**

○研究主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す  
小学校教育の推進」

○新型コロナウイルス感染防止の観点からZOOMによる参加者への動画配信

- ・全体会 千歳からリアルタイムによる配信
- ・分科会 1週間の動画配信期間の設定および意見、感想、質問等の集約

**（３）秋季学校経営研究会（11月）** →分科会を設定せず、江別市民会館で実施

○講話

講 師：北海道教育庁石狩教育局次長 西岡 博幸氏  
演 題：「管内教育の今日的課題」

○協議題 社会の信頼・負託に応える確かな学校経営の推進

課題② 子どもと職員を守る安全教育の推進とサービス管理の徹底

〈視点ア〉保護者・地域の信頼に応えるサービス管理の徹底

〈視点イ〉子どもを守る安全教育と危機管理体制の確立

○道小石狩・千歳大会の報告

- ・道小石狩・千歳大会実行委員長 小松 義幸（江別市立江別第二小学校長）
- ・道小石狩・千歳大会実行委員会事務局長 今村 敏之（千歳市立千歳小学校長）

○全体会提言

- ・提言1 恵庭市立島松小学校長 熊谷 清秀
- ・提言2 江別市立野幌中学校長 藤野 十志幸
- ・提言3 石狩市立緑苑台小学校長 設楽 真奈美

**（４）研究集録第36・37集の発行（2月発行予定）**

- 昨年度発行していないため、令和3年度に36・37合併号として発行する。

## 4 おわりに

今年度は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策を受け、研究活動も様々な制約の中での取組となった。しかし、その中でも感染状況に応じて開催の仕方を工夫し、実施できる最大限の方法で交流・連携が図れたことは、時代に即応できた新たな成果と感じたところである。

次年度は4か年計画の最終年度となる。これまでの成果と課題を基に、今年度の経験を生かしながらも新たな視点を加え、研究や実践につなげていかなければならない。校長として、子どもたちが生きる未来社会を見据えた明確な学校経営ビジョンをもち、研究主題「自立・協働し、未来を創る石狩の子どもを育成する学校教育の推進」に向け、日々の実践を組織的に積み上げていきたい。